

坂井市制施行・坂井市文化協会設立
10周年記念事業

坂井市

文協のあゆみ



th



目次

ごあいさつ	2
10年のあゆみ	4
坂井市文協主催事業	10
歴代役員名簿	18
平成27年度役員名簿	19
部門紹介	
文芸部門	20
工芸部門	21
美術部門	22
芸能部門	24
郷土民俗芸能部門	28
教養・生活部門	29
茶華道部門	30
編集後記	32

10周年記念誌
坂井市 文協のあゆみ



「設立10周年記念誌」発刊にあたって

坂井市文化協会 会長 陶山 治男



この度、坂井市文化協会のあゆみである10周年記念誌が発刊の運びとなりました。関係各位のご尽力に深く感謝申し上げます。

平成18年3月20日に、坂井郡の三国、丸岡、春江、坂井の4町が合併し坂井市が誕生しましたが、それを機に4町の文協もいち早く合併し、平成18年6月10日の設立総会で新しく坂井市文化協会としてスタートを切りました。新しい組織体制づくりや事業運営のあり方については、4支部の特色を生かしながらも坂井市文化協会としての力強い歩みができるようにと工夫改善し努力してまいりました。初めは市民文化祭が事業の中心でありましたが、多くの方々のご協力ご支援のお陰で次第に事業も増え内容も充実し活発になってまいりました。

現在では、春から夏にかけて坂井市総合美術展、郷土芸能祭、子ども文化祭、そして、秋には、ふれあいコンサート、生花展、坂井市民文化祭、福井県市町文協選抜美術展及び選抜芸能祭への参加、又、冬は、文化講演会等多くの事業を展開しております。このように事業が増え成果を発表しあう機会が増えたということは、日頃の練習活動が今まで以上に活発になり充実してきているということでもありましょう。多くの文化交流発表会を通して互いに研鑽を積み、切磋琢磨していくことは、自分を向上させ人生を豊かにしていく上でとても大切でありますし、又、坂井市の文化向上発展につながっていくわけでもあります。10周年を機会により多くの人が文協に加入して、坂井市の文化振興に貢献されますよう心からご期待申し上げます。

今年は「坂井市制施行・坂井市文化協会設立10周年記念事業」と銘打って各事業を展開していますが、市民文化祭総合開会式では文化功労者を表彰しこの記念誌を発刊する運びとなりました。

最後に、合併から10年という節目を迎え、これまでの坂井市文化協会の歩みを振り返るとともに、次の20周年に向けて更なる発展がなされますよう皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、発刊にあたってのご挨拶といたします。

祝 辞

坂井市長 坂本 憲男



坂井市文化協会が発立10周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

平成18年3月20日に三国町、丸岡町、春江町、坂井町の4町が合併し、坂井市が誕生しましたが、文化協会においては、当時の役員、会員の皆様の大変なご苦労とご努力により、他の団体に先駆けて、いち早く、同年の6月10日に坂井市文化協会が発立されました。

平成18年の坂井市文化協会の設立以来、坂井市民文化祭をはじめ、総合美術展、郷土芸能祭及び子ども文化祭の開催など、特色ある坂井市独自の文化事業を展開しながら、市民文化の発展と振興、ならびに次の世代への文化継承に多大なる貢献を果たされておりますことに、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

坂井市におきましては、現在、「笑顔」を市政のキーワードとして様々な施策を展開しておりますが、今後とも地域の特色を活かした文化活動の促進、市民との協働による地域文化の発展及び文化活動団体の育成・支援に努めてまいりますので、皆様方におかれましても、引き続き、坂井市の文化芸術の発展とこれからの文化芸術を担う人材の育成にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、坂井市文化協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

坂井市議会議長 伊藤 聖一



坂井市制・坂井市文化協会設立10周年を迎えるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。

坂井市文化協会におかれましては、坂井市制施行とともに、平成18年6月に設立されました。

この間、坂井市民文化祭、坂井市総合美術展、子ども文化祭など、世代を超えた文化活動が年々充実し、坂井市文化の礎を築いていただきました。

これもひとえに、陶山会長はじめ、文化協会皆様方の熱意とご尽力の賜物と深く敬意と感謝の意を表すものであります。

さて、変化の激しい現代社会において、心のゆとりや癒しが求められる中、文化・芸術の果たす役割は、極めて重要となってきています。

こうした中で、伝統ある文化と新しい文化の創造による活動や出会いは、「喜びと感動」を生み、市民一人ひとりの文化意識を高揚し、生涯を通じて学び・育つまちづくりに繋がっていくものと期待しております。

坂井市議会としても、市民の皆様が身近に文化、芸術にふれ、親しんでいただけるよう文化芸術の振興に一層努力してまいる所存であります。

結びに、坂井市文化協会が設立10周年を契機として、今後益々のご活躍、ご健勝をご祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。

お祝いの言葉

坂井市教育長 川元 利夫



坂井市制・坂井市文化協会が設立10周年を迎えられ、併せて記念誌を発刊されますこと、心からお祝い申し上げます。

今年、坂井市が平成18年3月に誕生しまして、早くも10周年という記念の年となりました。合併当初は4町の融和を図るために「輝く未来へ…みんなで創る希望の都市」をスローガンに、地域自治区制度を取り入れ、地域協議会や市民一人ひとりが主役のまちづくり協議会も設置し、自主的な地域づくりが展開されてきました。旧4町が築き磨き上げてきた固有性・特色を尊重しつつ、連携し新たな坂井市としての方向性や価値を創造することが問われて来ました。住民一人ひとりがつながり、まちへの愛着が生まれてこそ未来が開けてくるものです。

そうした流れの中、いち早くそれぞれの町の文化協議会がひとつになり坂井市文化協会が設立されました。市民が芸術文化に親しみ、創造活動を通して、豊かな情操と想像力を育むための文化振興行政の一翼を担っていただいています。市民文化祭や芸術性の高い総合美術展や郷土芸能祭、そして伝統の担い手である子ども文化祭など、「文化の香り高い坂井市」をめざして更なるご活躍をお祈りしつつ、お祝いの言葉といたします。

10年のあゆみ

2006

[平成18年度]

- 3月20日 坂井市誕生
- 3月21日～6月10日
坂井市文化協会設立準備委員会
- 6月10日 坂井市文化協会設立総会
 - ・4支部発足
 - ・会員総数：3,499名（個人9名）
 - ・団体数：269
- 11月3日～5日
第1回坂井市民文化祭
（三国社会福祉センター）
 - ・総合開会式：11月3日

[平成19年]

- 2月 坂井市文化協会だより 初版発行



平成18年 坂井市文化協会設立総会



平成18年 第1回坂井市民文化祭



平成19年 第2回坂井市民文化祭

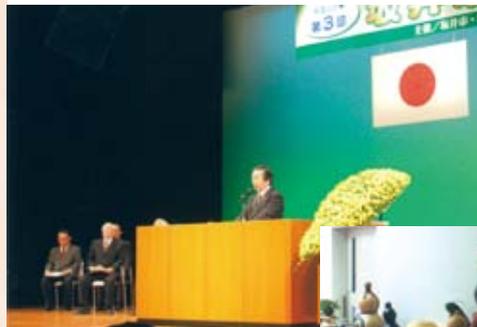
2007

[平成19年度]

- 4月1日 19年度総会（規約一部改正）
 - ・文化課設立（生涯学習課より独立）
- 5月12日 坂井市文化協会事務局独立
（会長職出身支部に置く【三国】）
 - ・会員：3,297名（個人24名）
 - ・団体数：270
- 9月 坂井市文化協会だより 第2号発行
- 10月27日～11月7日
第2回坂井市民文化祭
（いきいきプラザ霞の郷）
 - ・総合開会式：10月27日

[平成20年]

- 3月 坂井市文化協会だより 第3号発行



平成20年 第3回坂井市民文化祭

2008

[平成20年度]

- 5月31日 20年度総会（規約一部改正）
 - ・役員改選
 - ・会員3,393名（個人15名）
 - ・団体数295



平成21年度総会



平成 21 年度 役員



平成 21 年 文協芸能部門 3 周年記念公演



平成 21 年 第 1 回交流絵画展



平成 21 年 第 1 回交流写真展



● 9 月 加藤 巖 副会長 逝去

● 11 月 1 日～ 3 日

第 3 回坂井市民文化祭
(ハートピア春江)

・総合開会式：11 月 1 日

[平成 21 年]

● 3 月

坂井市文化協会だより 第 4 号発行

2009

[平成 21 年度]

● 4 月 25 日 21 年度総会

・会員 3,388 名 (個人 16 名)
・団体数 312

● 4 月 14 日～ 19 日

第 1 回交流写真展

(坂井地域交流センター「いねす」)

● 6 月 21 日

文協芸能部門 3 周年記念公演
(ハートピア春江)

・「未来へ輝く坂井」/主管：芸能部門

● 10 月 31 日～ 11 月 4 日

第 4 回坂井市民文化祭 (坂井体育館)

・総合開会式：10 月 31 日

● 11 月 21 日 ふれあいコンサート

(市多目的研修集会施設)

[平成 22 年]

● 2 月 2 日～ 7 日

第 1 回交流絵画展

(坂井地域交流センター「いねす」)

● 2 月 15 日

第 1 回文協文化講演会
(三国観光ホテル)

・講師：坪川常春氏

● 3 月 7 日

第 1 回文協写真講座

(三国社会福祉センター)

● 3 月

坂井市文化協会だより 第 5 号発行

2010

[平成22年度]

- 4月26日 22年度総会（規約一部改正）
 - ・役員改選
 - ・会員：2,976名（個人38名）
 - ・団体数：310
- 4月14日～19日 第2回交流写真展（坂井地域交流センター「いねす」）
- 6月28日 委託事業となり文化祭実行委員会 設立・運営
- 9月 坂井市文化協会だより 第6号発行
- 10月30日～11月4日 第5回坂井市民文化祭（ハートピア春江）
 - ・総合開会式：10月30日
- 11月21日 ふれあいコンサート（市多目的研修集会施設）



H22年度総会



平成22年 第5回坂井市民文化祭



平成23年 ふれあいコンサート

[平成23年]

- 2月16日～20日 第2回交流絵画展（坂井地域交流センター「いねす」）
- 2月25日 第2回文協文化講演会（三国社会福祉センター）
 - ・講師：松村忠記氏
- 3月4日 第2回文協写真講座（三国社会福祉センター）
- 3月 坂井市文化協会だより 第7号発行



平成23年 第3回文協文化講演会

2011

[平成23年度]

- 4月16日 23年度総会
 - ・会員：2,995名（個人32名）
 - ・団体数：310
- 4月27日～5月1日 第3回交流写真展（坂井地域交流センター「いねす」）
- 8月 坂井市文化協会だより 第8号発行
- 10月23日～11月27日 5周年記念 第6回坂井市民文化祭（ハートピア春江）
 - ・総合開会式：10月23日
 - ・開会式単独実施
 - ・芸能発表・茶席・作品展



平成23年 第6回坂井市民文化祭





平成 24 年
第 22 回市町文協選抜芸能祭



平成 24 年
第 1 回郷土芸能祭・子ども文化祭



平成 24 年 第 1 回子ども文化祭



書道作品

- 10月29日 ふれあいコンサート (市多目的研修集会施設)
- [平成 24 年]
- 2月22日 第3回文協文化講演会 (三国社会福祉センター)
・講師：坪川常春氏
- 3月4日 第3回文協写真講座 (三国社会福祉センター)
- 3月7日～11日 第3回交流絵画展 (坂井地域交流センター「いねす」)
- 3月 坂井市文化協会だより 第9号発行

2012

[平成 24 年度]

- 4月14日 24年度総会 (規約一部改正)
・役員改選
・会員：2,973名 (個人27名)
・団体数：280
- 4月24日～30日 第4回交流写真展 (坂井地域交流センター「いねす」)
- 6月23日 第1回郷土芸能祭 (たかむく古城ホール)
- 7月7日 プレ (第1回) 子ども文化祭 (ハートピア春江)
- 7月22日 おはら風の盆「演舞と講演」 (三国社会福祉センター)
- 8月 坂井市文化協会だより 第10号発行
- 9月23日 第22回市町文協選抜芸能祭 (ハートピア春江)
- 10月21日～11月5日 第7回坂井市民文化祭 (たかむく古城ホール)
・総合開会式：11月5日
- 11月11日 ふれあいコンサート (市多目的研修集会施設)
- [平成 25 年]
- 2月10日 第4回文協文化講演会 (坂井地域交流センター「いねす」)
・講師：増永迪男氏
- 2月13日～17日 第4回交流絵画展 (坂井地域交流センター「いねす」)
- 3月3日 第4回文協写真講座 (三国社会福祉センター)
- 3月 坂井市文化協会だより 第11号発行

2013

[平成25年度]

- 4月13日 25年度総会（規約一部改正）
・会員：2,909名（個人30名）
・団体数：291
 - 4月23日・24日 第5回交流写真展
（坂井地域交流センター「いねす」）
 - 6月9日 第2回郷土芸能祭（みくに文化未来館）
 - 7月14日・15日 第2回子ども文化祭（ハートピア春江）
 - 11月2日～4日 第8回坂井市民文化祭（ハートピア春江）
・総合開会式：11月2日
 - 11月10日 ふれあいコンサート（市多目的研修集会施設）
- [平成26年]
- 2月15日 第5回交流絵画展
（坂井地域交流センター「いねす」）
 - 2月22日 第5回文協文化講演会
（坂井地域交流センター「いねす」）
・講師：林幸男氏
 - 3月2日 第5回文協写真講座
（三国社会福祉センター）
 - 3月 坂井市文化協会だより 第12号発行



平成25年
第8回坂井市民文化祭



平成25年 第5回交流写真展



平成26年 第9回坂井市民文化祭



平成26年 第1回坂井市総合美術展 開会式

2014

[平成26年度]

- 4月5日 26年度総会
・役員改選
・会員2,888名（個人43名）
・団体数：289
- 5月3日・4日、10月5日 第1回グリーンセンターいけばな展
（グリーンセンター）
- 5月22日～25日 第1回坂井市総合美術展
（ハートピア春江）
- 5月31日・6月1日 第1回いけばな展
（ハートピア春江）
- 6月1日 第3回郷土芸能祭
（ハートピア春江）
- 7月5日・6日 第3回子ども文化祭（ハートピア春江）
- 8月～ 市立三国病院常設写真展【年間】
（市立三国病院ロビー）
- 9月 矢尾登 副会長 逝去



平成26年 第3回郷土芸能祭



平成 26 年
三国病院常設写真展



第 6 回文協文化講演会



平成 27 年 第 10 回坂井市民文化祭



平成 27 年 第 2 回坂井市総合美術展



平成 27 年 第 4 回子ども文化祭



平成 27 年 12 月 市長と語る会

平成 27 年
第 7 回文協文化講演会

- 10月26日～11月3日
第9回坂井市民文化祭 (みくに文化未来館)
・総合開会式：10月26日
- 11月9日
ふれあいコンサート (市多目的研修集会施設)
- [平成 27 年]
- 2月14日
第6回文協文化講演会
(坂井地域交流センター「いねす」)
・講師：大廻政成氏
- 3月31日
第6回文協写真講座 (三国社会福祉センター)
- 3月
坂井市文化協会だより 第13号発行

2015

[平成 27 年度]

- 4月18日
27年度総会
・会員：2,609名 (個人34名)
・団体数：279
- 4月～28年3月
市立三国病院常設写真展【年間】
(市立三国病院口ビー)
- 6月3日～7日
第2回坂井市総合美術展
(ハートピア春江)
- 6月7日、10月4日
第2回グリーンセンターいけばな展
(グリーンセンター)
- 6月22日
第4回郷土芸能祭 (ハートピア春江)
- 7月4日・5日
第4回子ども文化祭 (ハートピア春江)
- 9月13日
ふれあいコンサート (市多目的研修集会施設)
- 10月25日～11月3日
第10回坂井市民文化祭 (ハートピア春江)
・総合開会式：10月25日
・選抜美術展参加作品展
・書道パフォーマンス
- 12月
市長と語る会 (三国観光ホテル)
- [平成 28 年]
- 2月6日
第7回文協文化講演会
(坂井地域交流センター「いねす」)
・講師：山岸世詩明氏
- 3月6日
第7回文協写真講座 (三国社会福祉センター)
- 3月
坂井市文化協会だより 第14号発行

文協だより

平成19年2月 初版発行
平成28年3月 第14号

平成19年2月に第1号を発行して以来、每期1～2回の発行で文化協会の催事案内や報告、運営組織の変更、所属団体の活動内容の紹介等を、タイムリーに掲載して広報活動を行っています。また、この広報紙は坂井市内の全戸に配布されています。



芸能部門3周年記念公演

平成21年6月21日
ハートピア春江

坂井市文化協会設立後、芸能部門は4支部各々が独自に活動をしてきましたが、設立3周年を機に坂井市芸能部門が団結、総力を挙げて舞台を構成し公演を行いました。



コーラスと子どもバレエ



カラオケと舞踊



クラシックバレエ



ハワイアンと軽音楽



大正琴とカラオケと舞踊



三味線と太鼓

福井県市町文協選抜芸能祭

平成 24 年 9 月 23 日
ハートピア春江

平成 24 年 9 月、坂井市文協が運営の主体となって市町文協選抜芸能祭が開催されました。昭和 60 年に第 1 回大会が旧今立町で行われて以来、県内の市町が交替で運営に当たり、今回で 22 回目となります。最後に出演した坂井市文協は 16 団体 200 余名が「坂井の四季」を上演しました。



開会式



(坂井の冬)
太鼓、プラスバンド



(坂井の春) 詩吟、吟舞、エレクトーン



(坂井の秋) 太極拳、コーラス



(坂井の夏) 舞踊、三味線、笛



「坂名井の継体大王が…」



フラダンス



フィナーレ

郷土芸能祭

平成24年6月23日(第1回)
たかむく古城ホール

市内4地区には、古くから伝わる伝統芸能が各々の地区で今日まで継承されてきましたが、一般的にはあまり知られていません。それらの行事を広く市民に知っていただくために、各団体が一堂に会して舞台上で披露をしました。坂井市文協の主催事業として毎年開催されています。



御神鹿打込太鼓



舟寄踊り



越前打込太鼓



鬼辺太鼓



でんすけ



丸岡おじゃれ



表児の米



三国節

子ども文化祭

平成 24 年 7 月 7 日 (プレ大会)
ハートピア春江

次代を担う子ども達も様々な文化の伝承に携わっています。子ども文化祭という行事の中で、市内の子ども達が広く交流し、日頃の練習の成果を発表して市民との融和を深めました。坂井市文協の主催事業として毎年開催され、年々参加団体が増加中です。



出演した子どもたち



書道



絵画



お茶席



いけばな



ピアノ演奏



子どもミュージカル



バレエ



太鼓

ふれあいコンサート

平成 23 年 11 月
市多目的研修集会施設 他

平成 8 年より旧坂井町文協の主催で「わがまちわがむら音楽祭」を開催していましたが、平成 23 年 11 月より坂井市文化協会主催事業として「ふれあいコンサート」を継続再スタートさせました。市内で活躍している多様なジャンルのミュージシャンが出演しています。(通算 20 回。)



坂井市総合美術展

平成 26 年 5 月 22 日～ 25 日 (第 1 回)
ハートピア春江

坂井市文化協会設立後、坂井市交流写真展や絵画展、書道展など各分野毎に行われていた展示会に、茶華道、工芸、教養生活の各部門を加え、坂井市総合美術展として開催されました。



テープカット



工芸部門



盆栽



写真部門



日本画、水墨画部門



書道部門



お茶席

いけばな展

平成 26 年 5 月 31 日～6 月 1 日(第 1 回)
ハートピア春江

平成 24 年 4 月より市内にて活躍されています茶道・華道教授者の会「坂井市茶華道連盟」を設立し、これを機に「第 1 回いけばな展」を開催する等、茶道・華道の普及伝承のために日々研鑽しています。



開会式 テープカット



茶席



歴代役員名簿

	会 長	副会長（代理）	事務局長	会 計
平成 18 年度	山田 昭雄	南出 慎一 北 勇一 加藤 巖 重森吉兵衛	杉本 一彦	(生涯学習課)
平成 19 年度	山田 昭雄	南出 慎一 北 勇一 加藤 巖 重森吉兵衛	杉本 一彦	(文化課)
平成 20 年度	山田 昭雄	南出 慎一 北 勇一 加藤 巖 (矢尾 登) 陶山 治男	岡田 利雄	三宅小百合
平成 21 年度	山田 昭雄	南出 慎一 北 勇一 矢尾 登 陶山 治男	岡田 利雄	三宅小百合
平成 22 年度	山田 昭雄	南出 慎一 北 勇一 矢尾 登 陶山 治男	岡田 利雄	野田 淑美
平成 23 年度	山田 昭雄	南出 慎一 北 勇一 矢尾 登 陶山 治男	岡田 利雄	野田 淑美
平成 24 年度	陶山 治男	南出 慎一 豊原 春雄 矢尾 登 笠原 隆洋	岡田 利雄	草壁 陽子
平成 25 年度	陶山 治男	南出 慎一 豊原 春雄 矢尾 登 笠原 隆洋	岡田 利雄	草壁 陽子
平成 26 年度	陶山 治男	南出 慎一 豊原 春雄 矢尾 登 (西畑知佐代) (坪田政右エ門) 笠原 隆洋	岡田 利雄	青池 いづみ
平成 27 年度	陶山 治男	南出 慎一 豊原 春雄 (西畑知佐代) (坪田政右エ門) 笠原 隆洋	岡田 利雄	青池 いづみ

平成27年度役員名簿

役 職	名 前	支部名
会 長	陶山 治男	坂井支部
副 会 長	南出 慎一	三国支部
副 会 長	豊原 春雄	丸岡支部
副 会 長	笠原 隆洋	坂井支部
副 会 長 代 理	坪田政右エ門	春江支部
〃	西畑 知佐代	春江支部
理 事(文 芸)	津田 道代	三国支部
	竹内 眞子	丸岡支部
	長谷川 智子	春江支部
	五十嵐 道夫	坂井支部
理 事(美 術)	浅川 政太郎	三国支部
	小川 千代子	丸岡支部
	増田 萬世子	春江支部
	森川 繁二	坂井支部
理 事(工 芸)	西端 絹枝	三国支部
	加茂 純子	丸岡支部
	寺西 絹江	春江支部
	山田 眞美	坂井支部
理 事(郷土民俗芸能)	新保 章雄	三国支部
	大蔵 盛一	丸岡支部
	五十嵐 浩雄	春江支部
	大木 和夫	坂井支部
理 事(芸 能)	畠中 むつみ	三国支部
	錦織 敏子	丸岡支部
	後藤 詩律子	春江支部
	池本 紘一	坂井支部
理 事(茶華道)	倉谷 郁子	三国支部
	福岡 幸子	丸岡支部
	西畑 知佐代	春江支部
	宮北 民子	坂井支部
理 事(教養生活)	下村 貞行	三国支部
	四戸 友也	丸岡支部
	高山 昭雄	春江支部
	斉藤 英夫	坂井支部
監 事	古道 豊	三国支部
	恩地 精一	丸岡支部
	坪田政右エ門	春江支部
事務局長(兼事務長)	岡田 利雄	三国支部
会 計	青池 いづみ	坂井支部
事務長(丸岡支部担当)	林下 由喜子	丸岡支部
〃 (春江支部担当)	青柳 光雄	春江支部
〃 (坂井支部担当)	若松 静栄	坂井支部
庶 務(三国支部担当)	北島 順子	三国支部
〃 (丸岡支部担当)	岡崎 茂子	丸岡支部
〃 (春江支部担当)	橋本 ひろ子	春江支部
〃 (坂井支部担当)	辻 恵美子	坂井支部

文芸部門

文芸部門長 五十嵐 道夫

例年文化祭の各支部展示で作品発表を行ってまいりました。一年の代表作を色紙に短冊に認め皆さんに俳句、短歌、川柳、漢詩の理解を深めていただき、いろいろな質問にもこたえてきました。他の部門のように単独での発表の場をつくることは困難ではありますが、将来の夢としては、文芸部門の会員が一堂に会して「坂井市文学コンクール」などが出来ればとも思っています。

部 会	団 体 名	代表者名
俳 句	三国秋の会	津田 道代
俳 句	三国花鳥句会	末政 千代子
俳 句	丸岡俳句会	荒井 龍聲
俳 句	俳句会	白崎 孝一
俳 句	磊俳句会	長谷川 智子
俳 句	東十郷満天星俳句会	五十嵐 道夫
俳 句	大関山吹俳句会	田崎 節子
俳 句	木部草笛俳句会	陶山 治男

部 会	団 体 名	代表者名
漢 詩	湊吟社	大坂 義一
短 歌	三国短歌会	長谷川 郁子
短 歌	丸岡短歌会	竹内 眞子
短 歌	大関野菊短歌会	石黒 政子
川 柳	三国番傘川柳会	久崎 田甫
川 柳	大関川柳会	佐藤 和子



短歌作品集



俳句 吟行会



漢詩作品



合同俳句会句集

工芸部門

工芸部門長 西端 絹枝

早いもので合併して10年が経ちました。私達の工芸部門も「市内にこんなに多くのクラブがあるの」との驚きから始まり、お互いが刺激を受けながら技量の向上に励み、観ていただく喜びを感じてまいりました。文化祭での交流は楽しいものです。平成26年から始まった「坂井市総合美術展」においては、一般の方々の隠れた素晴らしい多くの作品を観せていただき感動いたしました。と共に一般参加の方にもお声をかけ、会員の増加を考えていきたいと思ひます。

部会	団体名	代表者名
ちぎり絵	ちぎり絵やよい会	小玉 節子
手芸	手芸教室	花園 馥
染・フラワー	染め&フラワー	西端 絹枝
布あそび	布あそび	酒谷 美智子
流木会	流・古木の会	山田 利勝 三浦 三博
パッチワーク	遊布会	山田 文子
染・フラワー	丸岡布花会	加茂 純子
押絵	押絵クラブ	上坂 愛子
陶芸	春江陶芸クラブ	蒔田 重弘

部会	団体名	代表者名
陶芸	清正会	渡辺 真由美
パッチワーク	パッチワークサークル	寺西 絹江
鑑賞石	越前水石寛山会	藤田 清信
鑑賞石	尚山会	高橋 勝治
編み物	ニットルームみやこし	宮腰 敏子
デザイン	フラワーデザイン	武田 静枝
革細工	清永革細工教室	斉藤 裕子
表装	表装サークル	山田 真美
陶芸	東十郷彩釉会	入場 智美
陶芸	陶友会	広部 範夫



工芸作品



ビーズ作品

押し絵作品



染め作品



切り絵作品



体験教室



陶芸教室

美術部門

美術部門長 浅川 慧仙

「坂井市にも総合美術展を」という提言が多数の方々の共感・賛同を得て実を結びました。第1回（平成26年）は出品総数が予想を上回る354点となりました。内容的には大作が多く、意欲的な力作が揃って、層の厚さ・レベルの高さを示しました。第2回（平成27年）は前回の反省から作品の大きさを上限50号としましたが、出品総数は271点となりました。作品は各部門で精選され、じっくり鑑賞できるように設営面で工夫されたので好評でした。

部会	団体名	代表者名
書道	呉石会	米沢 正
書道	潮韻会	五十嵐 愛子
書道	曾朋会	朝倉 晴子
書道	書道 さくら	かせ田 郁子
書道	丸岡墨彩会	長谷川 信一
書道	書友会	堂前 智代子
書道	碧朋会	前川 清一
書道	小川書道教室	小川 千代子
書道	北部書道会	増田 萬世子
書道	東部書道会	星野 千代枝
書道	春江中部書道部	前田 久
書道	大関習字の会	森川 繁二
書道	木部習字の会	野尻 時子
書道	友墨会	柏山 善英
書道	東十郷書友会	後藤 邦子
書道	仮名教室	會澤 喜美子
書道	子ども習字教室	江端 美代子
日本画	桃李会	上木 瞳
日本画	紫陽花会	塩出 周子 牧野 巖

部会	団体名	代表者名
洋画	三洋会	五十嵐 正夫
洋画	アトリエ ふれあい	吉田 克也
写佛画	丸岡写友会	青地 利男
墨彩	三国墨彩会	浅川 慧仙
南画	瑛春会	木村 トキ子
水墨画	霞墨会	白崎 昭夫
水墨画	九頭竜水墨画	内田 幸晃
水墨画	春江水墨会	前川 強
水墨画	春江西水墨会	佐藤 春次
墨彩	東十郷水墨会	西出 賢市
墨彩	兵庫水墨会	飛田 輝子
絵画	三人会	永田 アイ子
絵画	和紙絵 うすずみ会	虎尾 千枝子
写真	三国ロク・フォト	松岡 康夫
写真	フォトサロン南部	古道 豊
写真	三国写友クラブ	吉川 悦郎
写真	写団 ピンボケ	柴田 嘉範
写真	さかいフォトクラブ	林 重一



体験コーナー



書道展



写真展



絵画展



写真



書道



洋画



水墨画



書道パフォーマンス



写仏画



芸能部門

芸能部門長 池本 紘一

文化祭…私にとって何とも心地よい響きの言葉です。それを知る者にとってはこれほどすばらしい発表の場は無いのではないかと思えます。ただ昨今出場者が少なくなりつつあるのが残念です。

ところで、今各サークルで本当に楽しく練習しているのか、一週間が待ち遠しく感じているだろうか、勿論そういう人も多く、なかには今週練習したものを次の週までに完璧に覚えていくくらいやる気満々の人もいるでしょう。

一方何となく出席している人も少なくありません。ただ現役世代については仕事の関係でまた病気や介護などで欠席する人がいるのは止むを得ないでしょうが、一人何部門も掛け持ちした結果、意欲の減退による欠席が頭の痛い問題なのです。

更に高齢化による体力、気力の限界という構造的な問題も避けて通れない現実として直面しています。私はここで悲観論をのべようとしているわけではありません。自戒をこめて、会員減少の歯止めをどうするのか、目の前の現実から目をそらさず真剣に考えたいのです。

さる6月26日芦原（清風荘）に於いて坂井支部による一日体験研修会が開催されました。芸能部から詩吟、民謡、文化部から生花革細工、四部門研修コースが有り、詩吟には延べ32名、民謡には延べ34名参加していただき、好評でありましたが、今日までまだ会員増強とはなっておりません。そんなに難しくもないような気がするのだが中々…。

部会	団体名	代表者名
演劇	市民劇団「虹の会」子ども劇場	岡田 利雄
能楽（謡曲）	丸岡喜多会	牧田 政吉
能楽（謡曲）	観世流 春江弘謡会	松井 尚司
能楽（謡曲）	春江 喜多流謡曲会	村瀬 和男
詩吟	真砂吟詩会	長谷川美代子
詩吟	佳朋会	吉江 範行
詩吟	湊風吟詩会	田賀 卓司
詩吟	丸岡古城吟詩会	北 勇一
詩吟	丸岡まほろば吟詩会	豊原 春雄
詩吟	丸岡ときわ吟詩会	杉本 博子
詩吟	たけくらべ吟詩会	杉田 健雄
詩吟	丸岡松風吟詩会	恩地 精一
詩吟	舩吟詩会	松田 茂
詩吟	光世流霞吟詩会	酒井 景子
詩吟	光世流域のまち吟詩会	嶋崎 秀隆
詩吟	薫風吟詩会	田坂 哲
詩吟	吟道光世流春江吟詩会	坪田政右工門
詩吟	ゆり明吟会	大河内 悟
詩吟	関心流 坂井吟詩会	谷 岩男 池本 紘一
詩吟	吟道光世流竜東吟詩会	八十嶋 達男
尺八	三国竹友会	石山 鼓山
尺八	丸岡竹友会	久保田 安隆
箏曲	琴恵流 雄島教室	濱岡 幸子
箏曲	雅	斉藤 雅実枝
箏曲	美智寿会	野中 久美子

部会	団体名	代表者名
箏曲	遊花	近藤 盈子
箏曲	琴翔会	村田 佳代子
箏・三味線	箏曙会福井県支部	村上 福祐
箏・三味線	溪流会	近藤 盈子
箏・三味線	箏曙会	山本 しほこ
邦楽	秀萌会	山田 紀美代
邦楽	一心会	大嶋 忠一
邦楽	宮城社 箏和会	野坂 千江子
三味線	みすじ会	佐藤 千代美
三味線	竹世志会	番戸 玲子
三味線	弓月ひとみ会	村田 ひとみ
三味線	三弦会	岡田 弓子
長唄	江戸小唄会	岩井 良平
長唄	芳栄会	伊藤 恵美子
大正琴	さくら子会	高橋 恒子
大正琴	小春会	佐藤 早智子
大正琴	兵庫大正琴愛好会	国京 待子
大正琴	東十郷大正琴教室	佐野 ひろ子
華弓	YMS 華弓	佐藤 実寿恵
太鼓	かすみ太鼓保存会	高比良 清忠
太鼓	布久漏太鼓	東 成穂
太鼓	たかとり龍神太鼓	川上 智美
太鼓	九頭龍伝承太鼓	盛屋 日出志
太鼓	春江ゆり太鼓	吉川 静夫
太鼓	越前打込太鼓子ども教室	五十嵐 浩雄
太鼓	上村お面ばやし保存会	中山 晃廣

部 会	団 体 名	代 表 者 名	部 会	団 体 名	代 表 者 名
吟舞(剣詩舞)	吟舞クラブ恵珠会	岡田 律子	声 楽	エムラボ	岡田 健志
吟舞(剣詩舞)	宗生流吟の舞	錦織 敏子	音 楽	ラ・ムジカ	小原 貞一
吟舞(剣詩舞)	真舞流吟舞道会	石津 八重子	音楽サークル	ベチカ・SETSUの会	牧野 恵子 久保田 敏子
吟舞(剣詩舞)	真誠流剣詩舞道古城丸岡支部	宮越 郁子	歌 謡 曲	黒田ビクター歌謡教室	黒田 優美子
吟舞(剣詩舞)	宗生流剣詩舞道会	渡辺 侑聖	カ ラ オ ケ	竹田歌謡愛好会	坂本 貞一
吟舞(剣詩舞)	宗生流吟の舞 青少年部	宮田 輝美	カ ラ オ ケ	おたまじゃくしの会	金崎 雄一
吟舞(剣詩舞)	宗生流吟の舞はるえ	田中 美代子	カ ラ オ ケ	丸岡歌謡クラブ	谷口 敏子
吟舞(剣詩舞)	真誠流剣詩舞道	清水 小夜子	カ ラ オ ケ	春歌会	伊藤 智寿子
日 本 舞 踊	花柳流瑞穂会	花柳 瑞穂	カ ラ オ ケ	リリースカラオケ同好会	林田 峰子
日 本 舞 踊	藤間流藤美会	藤間 勢美三	歌 謡	坂井市 歌謡クラブ	陶山 隆志
日 本 舞 踊	丸岡花柳瑞穂会	横川 ミドリ	吹 奏 楽	三国シンフォニックウインズ	西前 勇人
日 本 舞 踊	花柳流亀扇会丸岡教室	谷口 美年子	吹 奏 楽	春江プラスコンコード	松田 英樹
日 本 舞 踊	花柳流 双福会	黒川 恵美子	ハ ン ド ベ ル	武曽音楽教室「凜」	藤田 笹恵子
日 本 舞 踊	花柳瑞穂会	澤崎 悦子	金管アンサンブル	オフィクレイド	印牧 公幸
現 代 舞 踊	瑞穂会	小玉 節子	ピ ア ノ	Piano Class room Natral	角矢 千鶴
現 代 舞 踊	寿々波竜扇会	山下 せつ子	オ カ リ ナ	ライリッシュオカリナグループ	門 博美
現 代 舞 踊	寿々波華扇会	堀 昭子	オ カ リ ナ	オカリナ教室	斉藤 敦子
現 代 舞 踊	寿々波輝扇会	西本 信子	洋 楽	音楽サークル「TANOSIMO」	笹木 尚美
現 代 舞 踊	寿々波鳳扇会	山岸 奈美子	洋 楽	オカリナさかい	南後 正枝
現 代 舞 踊	寿々波流華扇会	今安 貴子	フ ラ ダ ンス	フクイ・アロハレイ・ミクニ	畠中 むつみ
現 代 舞 踊	寿々波流長屋新舞踊	長橋 ミネ子	フ ラ ダ ンス	オハナフラエ・カイマリーノ	道川 久美
現 代 舞 踊	東十郷新舞踊・新民謡	牧野 コズエ	フ ラ ダ ンス	フクイ・アロハレイ イリマ会	出口 松子
現 代 舞 踊	花柳流双福会木部教室	牧野 明美	フ ラ ダ ンス	フクイ・アロハレイ 春江	堤端 一枝
民 踊	さかい民踊会	中野 正一郎	バ レ エ	坪田バレエスクール	坪田 律子 秦 真紀子
民 舞・民 踊	民踊すみれ会	廣瀬 都	バ レ エ	坪田バレエスクール	鱈淵 浩子
民 舞・民 踊	ハッピークラブ	佐々木とよ子	バ レ エ	フクイバレエ団丸岡研究所	林下 幸世
歌 謡 舞 踊	春江踊楽会	後藤 詩律子	バ レ エ	バレエスタジオ舞	三澤 延江
民 舞・民 踊	坂井民踊愛好会カーネーション	関 輝勝	社 交 ダ ンス	水仙ダンスクラブ	廣岡 栄子
民 舞・民 踊	坂井民踊クラブ	久保 クニ子	社 交 ダ ンス	ボールルームダンスクラブ	刀根 稔子
民 舞・民 踊	兵庫民踊クラブ	宇野 英子	社 交 ダ ンス	明交クラブ	中村 一昭
合 唱・コ ー ラ ス	三国町合唱団	巽 信夫	フ ォ ーク ダ ンス	リズムの会	北川 小代子
合 唱・コ ー ラ ス	まるおかローレル	角矢 千恵 石隅 美恵子	パ ト ント ワ リ ン グ	フクイプリティートワラズ	小林 桂子
合 唱・コ ー ラ ス	丸岡童謡の会「あすなる」	宗石 智重子	歌 舞 伎	まるおか子供歌舞伎を支える会	吉田 秀人
合 唱・コ ー ラ ス	キャッスル	竹内 三知夫	舞 踊 体 操	真美健康体操丸岡教室	鎌倉 万り子
合 唱・コ ー ラ ス	坂井コーラス	多田 直子	太 極 拳	春江太極拳	吉田 ツユ子
合 唱・コ ー ラ ス	シルフィーコール	佐々木 千絵	太 極 拳	太極拳サークル「郷の会」	嶋津 敏雄
合 唱・コ ー ラ ス	R.S.C.	四宮 美佐子			



詩吟



コーラス



エレクトーン演奏



女声コーラス



謡曲



三味線



太極拳



フラダンス



大正琴



民踊

芸能部門



民謡演奏



民謡



日本舞踊



詩吟



子どもコーラス



吟舞



太鼓

郷土民俗芸能部門

郷土民俗芸能部門長 大木 和夫

部門として、年間活動の最大行事である春の「坂井市郷土芸能祭」に大きな力を注いでまいりました。坂井市内各地域に伝わる郷土民俗芸能を、広く市民の方々に公開するものです。

平成 24 年に始まり丸岡・三国・春江と毎年会場を変えて発表しております。

これまで多くの市民の方々より、「坂井市はひろいのお、こんないいもの初めて見たわあ、聴いたわあ」との声が届けられ、私ども部門の大きな励みとやりがいになっております。もっともっと伝えてまいります。

部 会	団 体 名	代表者名
郷土民俗芸能	三国節保存会	新保 章雄
郷土民俗芸能	長畝日向神楽保存会	山田 正行
郷土民俗芸能	表児の米保存会	東 成穂
郷土民俗芸能	舟寄踊り保存会	大霜 徹夫 恩地 紀
郷土民俗芸能	竹田音頭保存会	山崎 勝

部 会	団 体 名	代表者名
郷土民俗芸能	丸岡おじゃれ保存会	坂田 展弘
郷土民俗芸能	でんすけ保存会	北川 柳子
太 鼓	越前打込太鼓会	五十嵐 偉郎
太 鼓	木部新保鬼辺太鼓保存会	大木 和夫
太 鼓	御神鹿打込太鼓	森瀬 美喜夫
三 味 線	木部三味線教室 なでしこ会	武川 ひろみ



舟寄踊り



長畝日向神楽



越前打込太鼓



竹田音頭



表児の米

教養・生活部門

教養・生活部門長 四戸 友也

高齢化社会をむかえ、ますます地域との繋がりや活動の重要性が増しています。協会加盟の皆様方には、様々な文化活動を通じて人生をより豊かに過ごされていることに感心させられてきました。

ますます自分の得意技を磨くとともに興味の幅を広げ、多くの人達の交流の輪を広げていきたいものと願っています。

部会	団体名	代表者名
仏教	三国町仏教会	井田 光圓
菊花・盆栽	三国盆栽会	下村 貞行
菊花・盆栽	丸岡菊花会	矢部 健治
菊花・盆栽	丸岡盆栽会	堀内 英茂
菊花・盆栽	春江町菊花会	高山 昭雄
菊花・盆栽	春江盆栽クラブ	下園 幸一

部会	団体名	代表者名
将棋	丸岡将棋クラブ	北村 正勝
将棋	春江町将棋クラブ	青柳 光雄
将棋	兵庫将棋道場	内田 正浩
将棋	坂井市将棋連盟	西畑 敏和
囲碁	春江町囲碁協会	牧野 俊行
囲碁	坂井囲碁クラブ	斉藤 英夫
古文書	坂井町古文書の会	高橋 研一



盆栽展



将棋大会



菊花展



茶華道部門

茶華道部門長 西畑 知佐代

私達茶華道部門は、市民文化の向上を図ることを目的とした、坂井市文化協会の中において、お花・お茶を教えている人、又習っている人の集まりです。

「子ども文化祭」、例年の「市民文化祭」等々の活動を行っています。「四季折々の草花との語らい、伝統のお茶を通して、旧き良き時代を偲びながら、ゆったりとした刻を楽しむひと時をもつ」 その様な多くの仲間達と共にこれからも楽しく・仲良く、そして切磋琢磨しながら、文化の輪を広げていきたいと思っています。

部会	団体名	代表者名
茶華道	遠州流翠光会、池坊	北野 宗旺
茶華道	文房流素蓉会	倉元 洋子
茶華道	文房流清心会	布目 恭子
茶華道	文房流	茂川 賢治
茶華道	文房流	松井 八重子
茶華道	文房流	林田 紀美代
茶華道	文房流	野口 美智子
茶華道	文房流	畠山 とみ子
茶華道	文房流	山本 隆子
茶華道	文房流	前田 憲子
茶華道	皇風煎茶、池坊	野地 昭子
茶華道	千流、文房聖流	十佐近 幸子
茶華道	表千家、池坊	大竹口 幸子
茶華道	表千家、池坊	小林 節子
茶華道	裏千家、池坊	吉村 溶子
茶華道	表千家、小原流	西畑 知佐代
茶華道	皇風煎茶、池坊	牧野 一代
茶華道	皇風煎茶、池坊	八杉 紀子
茶華道	裏千家、池坊	桑野 美枝子
茶華道	裏千家、池坊	谷内 多佳子
茶華道	文房流	黒川 芳江
茶華道	表千家、池坊	吉澤 君子
茶華道	遠州流、池坊	森瀬 玲子
茶華道	裏千家、池坊	村田 敬子
茶道	松風会	三浦 榮子
茶道	水無月会	松岡 諒子
茶道	和恵会	小澤 千恵子
茶道	遠州流善朋会	出口 喜代美
茶道	遠州流花清会	近藤 盈子
茶道	表千家同門之会	石田 正美
茶道	裏千家睦和会	木戸 徳子
茶道	裏千家悠々会	酒井 享子
茶道	表千家	三上 栄子

部会	団体名	代表者名
茶道	表千家	高岡 郁子
茶道	藪内(茶)文房流(茶)	村田 佳代子
茶道	表千家	荒井 喜良
茶道	裏千家	小島 美津子
茶道	裏千家	若松 静栄
華道	郁翠会	倉谷 郁子
華道	MOA山月	笹田 幸枝
華道	未生流	岡崎 茂子
華道	未生流	北川 和江
華道	未生流	小林 久子
華道	未生流	四戸 富美子
華道	未生流	寺嶋 さよこ
華道	未生流	堀川 喜代子
華道	未生流	松本 弘子
華道	文房聖流	木村 富美枝
華道	池坊	林下 由喜子
華道	心友会	福岡 幸子
華道	文房流	小野山 喜美子
華道	池坊	杉本 宗岳
華道	小原流	武田 静枝
華道	草月流	佐藤 正枝
華道	小原流	渡辺 朱美
華道	草月流	伊藤 信子
華道	池坊	久保田 敏子
華道	池坊	宮川 厚子
華道	池坊	宮北 民子
華道	小原流	多田 直子
華道	池坊	田中 留美枝
華道	池坊	伊藤 由紀子
華道	草月流	五十嵐 房子
華道	草月流	達川 美智代
華道	草月流	澤崎 照美
華道	池坊	佐々木 久美子



いけば花



茶席



子ども茶席

坂井市茶華道連盟

坂井市茶華道連盟では、いけば花展をはじめ「丸岡城桜まつり茶席」、「グリーンセンターいけば花展」などを通してお茶やお花を身近に感じて頂けるよう活動しています。



花や緑に親しみ 興総合グリーンセンターでフェア
坂井市丸岡町栗間の興総合グリーンセンターで四日、花や緑に親しむフェアがあり、大勢の家族連れらでにぎわった。五日まで。施設内のウッドハウス丸岡電では、来場者が生け花を体験。

「自然に生けることで花も長く生かせることが分かった。玄關に飾りたい」と笑顔を見せた。ウッドリームフレイでは山野草展とポット植えの販売があった。丸岡山野草会（辻村武憲会長）の会員十八人が丹精した百点を超す作品を展示。増沢信一さんのミツバワイガサは盆栽のように岩に根をはわせた作品で、三十年以上の風格と小さくかんな花が訪れた人の目を引いていた。



(福井新聞記事より)

編集後記

平成 18 年 6 月 10 日、坂井市の誕生を期に、4 町（三国町・丸岡町・春江町・坂井町）にあった文化協会を合併して「坂井市文化協会」が設立されました。それ以来 10 年もの間、部門毎に熱心な活動が続けられてきました。

この度、10 周年を迎えるにあたり、「坂井市文化協会」の活動の歴史と記録を後世に残すため『10 周年記念誌』を発行することになりました。下記の 5 人が編集委員に任命され、平成 28 年 6 月 6 日に第 1 回の編集委員会を開催しました。限られた時間の中で、より良い『10 周年記念誌』にしようと、10 回の会議を重ねて参りました。限られたページ数で各部門の 10 年間の活動の全てを網羅することは大変な作業でしたが、ようやく発行する運びとなり、編集委員一同ホッとしております。

この『10 周年記念誌』を手にとられたみな様が、これまでの「坂井市文化協会」の輝かしい活動の歴史と記録をお読みくださり、更なる活動の継続と益々のご発展をお祈りいたしております。

最後になりましたが、『10 周年記念誌』の編集という機会を与えてくださいました事に、編集委員一同深く感謝申し上げます。

(文責 吉澤 君子)

10 周年記念誌「文協のあゆみ」 編集委員会

編集委員長	南出 慎一
編集委員	新保 章雄
	福岡 幸子
	吉澤 君子
	高岡ひとみ
事務局	岡田 利雄





彩り豊かな海・山・川と市民が融和する坂井市
大空へ伸びる緑の木々のように 希望に満ちたまちの実現に向けて
ここに市民憲章を定めます

- 一 青い日本海のすがすがしさ
自然と住みよい環境に恵まれた 坂井
- 一 白いユリのやさしさ
人々のきずなと安心が広がる 坂井
- 一 こがね 黄金波打つ平野の温もり
感謝と思いやりの心を育む 坂井
- 一 桜に浮かぶ古城の気高さ
誇りある歴史と文化が息づく 坂井
- 一 真っ赤な太陽の輝き
明るい笑顔と活力があふれる 坂井



市の花 ユリ



市の木 サクラ



市の鳥 カモメ

坂井市制施行・坂井市文化協会設立
10周年記念事業

坂井市 文協のあゆみ

発刊日 平成28年10月30日

発行 坂井市文化協会

会長 陶山 治男

坂井市三国町北本町三国コミュニティセンター内

TEL 0776-81-2273

編集 「文協のあゆみ」編集委員会

印刷 株式会社 エクシート